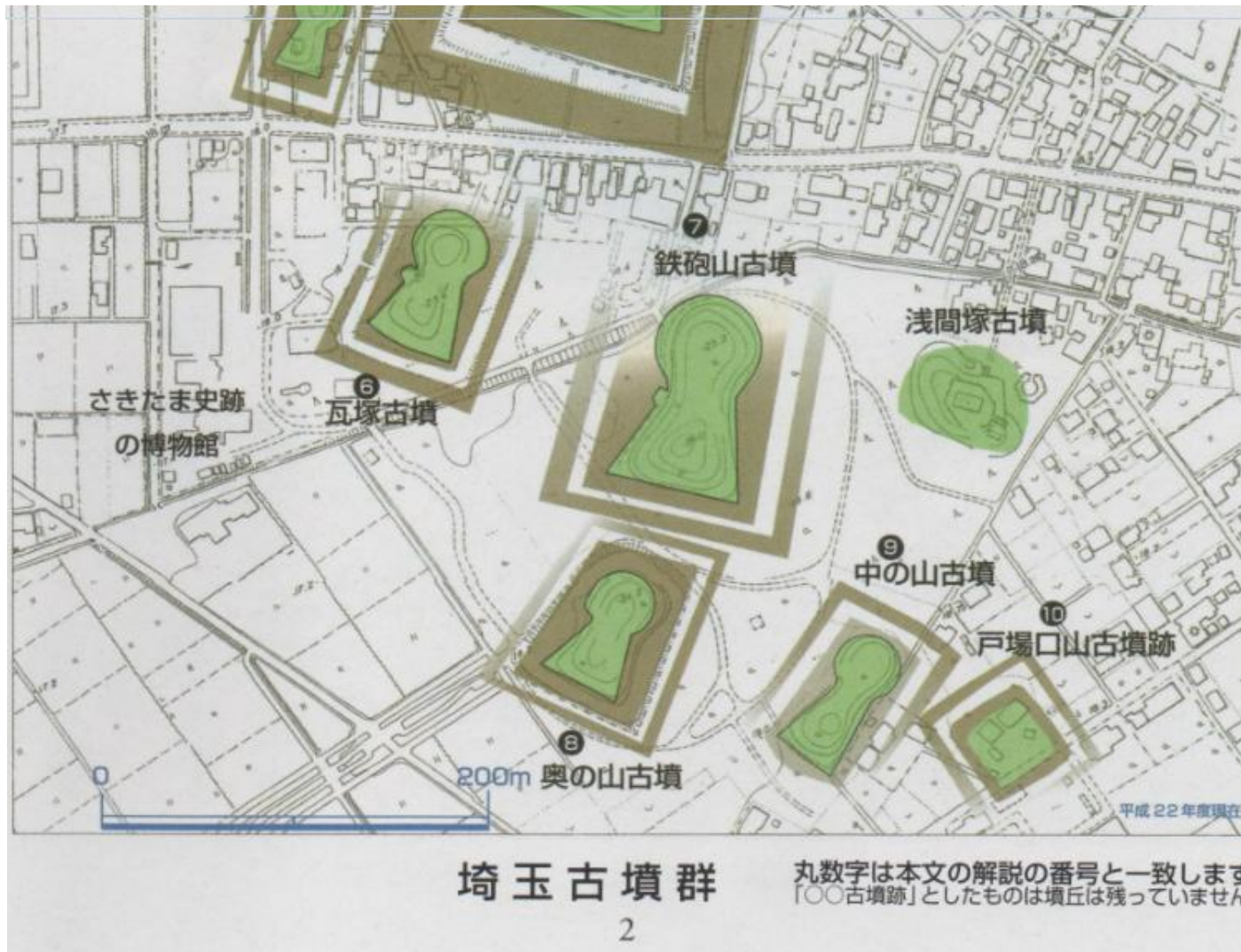


さきたま古墳群 その2





「埼玉県立さきたま史跡の博物館 ガイドブック」より





愛宕山古墳









# あ た ご や ま 愛宕山古墳

全長53m、埼玉古墳群の中でもっとも小さな前方後円墳です。

最小ではありますが、他の前方後円墳と同じく、周囲には長方形の堀が二重に巡ることが、発掘調査により確認されました。墳丘内部は未調査であるため、埋葬施設の形や大きさ、副葬品の内容など詳しいことはまだ分かっていません。

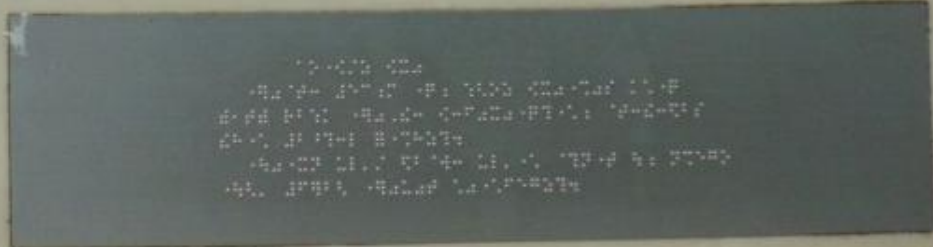
出土した遺物は、円筒埴輪のほか、人物・大刀・盾・蓋（貴人の傘）などを表現した形象埴輪があります。円筒埴輪は、高さが40cm前後で、他の古墳に比べ小さいのが特徴です。

古墳の造られた時期は、出土した遺物から6世紀前半と推定されています。

平成21年(2009年)3月 埼玉県教育委員会

## Atagoyama Kofun

The total length of this tumulus is 53 meters and is the smallest of the keyhole shaped tumulus (kofun)s at Sakitama Kofun. It is surrounded by a double rectangular mote. Haniwa clay figures and images have been unearthed in this tumulus(kofun) which is estimated to have been built in the first half of the 6th century.















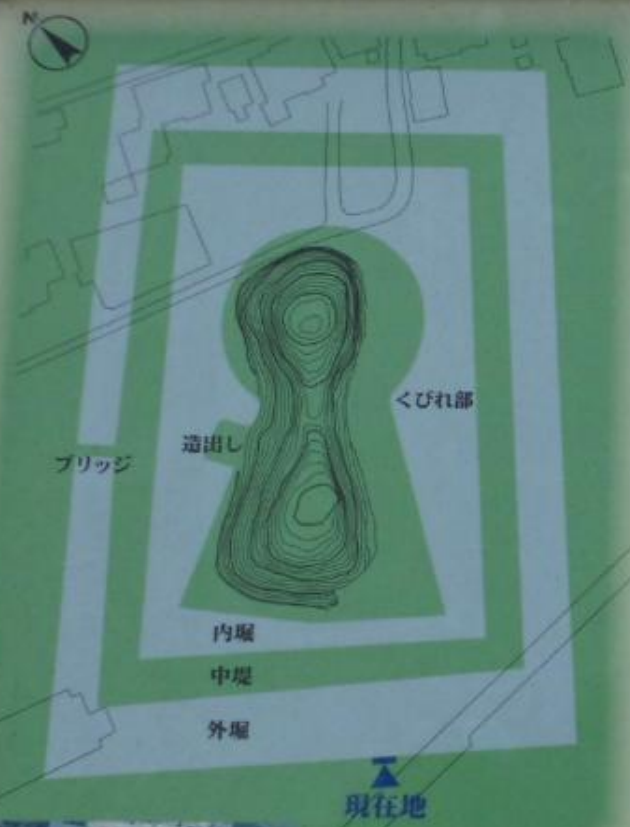




# さきたま古墳公園

0 100





空から見た瓦塚古墳



# かわらづか 瓦塚古墳

全長73mの前方後円墳です。他の前方後円墳と同じく周囲には長方形の堀が二重に巡り、墳丘のくびれ部には造出しと呼ばれる張り出しがあります。また、造出し正面の外堀には、通路と見られるブリッジ状の掘り残しがあります。

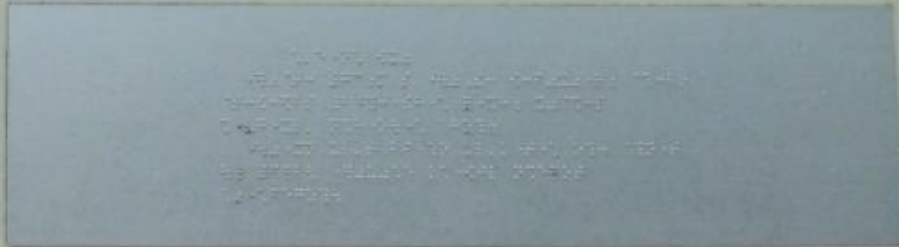
整備に先立つ発掘調査の結果から、その周辺の中堤には、琴を弾く男子、踊る男女、武人などの人物埴輪、盾形埴輪、家型埴輪など多種の埴輪が立て並べられていたと推定されています。

墳丘内部は未調査であるため、埋葬施設の形や大きさ、副葬品の内容など詳しいことはまだ分かっていません。古墳の造られた時期は、出土した遺物から6世紀前半から中頃と推定されています。

平成21年(2009年)3月 埼玉県教育委員会

## Kawaratzuka Kofun

This keyhole shaped tumulus is 73 meters long and surrounded by a rectangular double moat. There is a "tsukuri-dashi" mound of earth, a kind of yard space at the middle where the rectangular and round sections join. Many haniwa artifacts such as clay figures and house shaped images have been unearthed in this tumulus (kofun) which is estimated to have been built in the early to mid 6th century.





瓦塚古墳













通路と思われる掘り残し/ブリッジ









造り出し



中堤

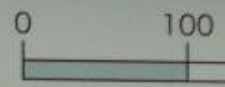




内堀(左)と中堤(右)



# さきたま古墳公園





奥の山古墳



















中の山古墳



## ◆ 中の山古墳 Nakanoyama Kofun

形 状 前方後円墳

全 長 79.0m

後円部 径39.0m 高さ4.4m

前方部 幅40.0m 高さ5.5m  
(平成2年2月現在)

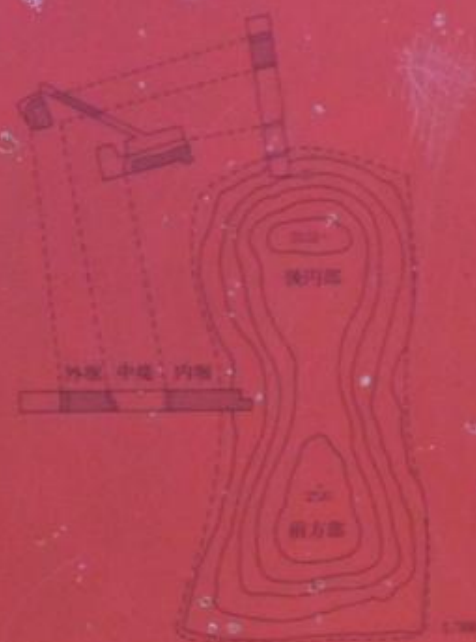
古墳群内の前方後円墳のうち、第6位の規模です。最近の発掘調査で、二重の堀のめぐっていることがわかりました。

堀からは、須恵器の技法で作られた埴輪壺が多数出土しています。

古墳の築造年代は、6世紀末から7世紀はじめと考えられ、古墳群中の前方後円墳としては、最も新しい可能性があります。



埴輪壺



















鉄砲山古墳



















注意  
古墳跡  
古墳上  
大塚

鉄砲山古墳









植物園もある





## 万葉集と古代の埼玉さきたま

昭和61年3月

万葉集は、二十巻約四五〇〇首を収録したわが国最古の歌集で、素朴で力強く、当時の人々の素直な感情をありのままに表現している。稲荷山古墳出土の金錯銘鉄剣おんさくめいてつけんに記された「獲加多支鹵大王わかたける（雄略天皇）」の作品もある。

当時の埼玉地方は、利根川や荒川がときどき流路を変え、湖や沼も多く現在とは、かなり様子が違っていた。また、各地へ通じる水上交通の要地でもあり、人々の往来も盛んであった。









定規より4センチメートルの幅に、厚さ2センチメートル



あし「馬酔木」第二十卷四五十三

いそかけ  
磯影の見ゆる池水 照るまでに  
咲ける馬酔木の散らまく惜しも

かじなびのいかこのまひと  
甘南備伊香真人

意味

名影が映っている池の水が照り輝く  
ほどに咲いている馬酔木(あせび)が  
散らまってしまうのは惜しいことです。



# 埼玉地方の万葉歌

昭和61年3月

埼玉地方の歌としては、次の四首が知られている

埼玉の小埜の沼に鴨を置き置

己が風に降り置ける雉を 掃ふどにあらし

(巻九 一七四三)

埼玉の津に居る船の風を疾み 網は絶ゆども

言な絶えそね

(巻十四 三三八〇)

足柄のみ坂に立して袖ふらは いわなる妹は

さやに見ちかも

(巻二十一 四四二五)

色深く甘なが衣は染めましを み坂たばらば

まさやかに見む

(巻二十 四四二四)



ヤブコウジ



ワツギ

また、万葉集には、約一六〇種の植物がうたわれ、生活のなかで、豊かな自然に生息していたことが知られる。そこになつたわれている植物は、山野に生えているふつつうの草や

木で、その呼び名も現在と同じものが多い。

まつ「松」第九巻一七一六

白波の浜松の木の手向けくさ  
いくだ  
歳代までにか年は経ぬらむ

やまの子えみ おくら  
山上 憶良

白波の浜松の木の手向けくさ





香味  
白波の寄せる浜の松の木に結び  
つけた神様へのささげ物は、いつたい  
どれくらいの年月がたつたのでしよう。



さきたま緑道とある



## 古墳時代のできごと

西暦	時代区分	おもなできごと	古墳文化のうつりかわり	埼玉古墳群とその周辺
200	弥生時代	220 後漢がほろびる(中国) 239 邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る	大きな前方後円墳が造られるようになる	
300		(前) 313~ 314 高句麗が楽浪郡・帯方郡をほろぼす(朝鮮半島) このころ百済・新羅が建国される(朝鮮半島)	<p>前期古墳の主な副葬品 —鏡や石製の装飾品など—</p>  <p>鏡 石製腕飾</p>	
400	墳(中) 391 倭軍が朝鮮半島に出兵したとされる(414年の好太王碑に記録)	<p>中期古墳の主な副葬品 —甲冑などの武器類が多い—</p>  <p>甲冑 馬具 鏡 帯金具</p>		
	代(期) 475 百済が都を漢城(今のソウル)から熊津(今の公州)にうつす(朝鮮半島) 478 倭王武が宋(中国)に使いを送る	多くの渡来人が新しい技術をもたらす	471 金錯銘鉄剣 稲荷山古墳	



500	後 期	527 筑紫国造磐井の内乱おこる	関東地方でさかんに埴輪が造られるようになる 各地で群集墳がさかんに造られるようになる	梅塚古墳 二子山古墳 (丸墓山古墳) 瓦塚古墳 (鉄砲山古墳) 將軍山古墳  小見真観寺古墳 中の山古墳  八幡山古墳 戸場口山古墳 地藏塚古墳
		534 このころ武蔵国造の内乱おこる		
		538 百済が都を熊津から泗沘(今の扶餘)にうつす(朝鮮半島)		
		538 (552) 仏教が百済から伝えられる		
		562 新羅が伽耶をほろぼす(朝鮮半島)		
		589 隋が中国を統一(中国)		
		593 聖徳太子が摂政となる		
		596 飛鳥寺がほぼ完成する		
		607 遣隋使を送る		
		618 唐が成立する(中国)		
600	645 大化の改新	前方後円墳が造られなくなる		
	660 新羅・唐連合軍が百済をほろぼす(朝鮮半島)	次第に古墳が造られなくなる		
	663 白村江の戦い			
	672 壬申の乱おこる			
	694 藤原宮に都をうつす			



「埼玉県立さきたま史跡の博物館 ガイドブック」より